

2011 年 10 月 5 日

各 位

会 社 名 イ オ ン 株 式 会 社
代表者名 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
(証券コード 8267)
問合せ先 執行役 社長室 責任者 平林 秀博
(電話番号 043-212-6042)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

2011年7月6日に公表した2012年2月期(2011年3月1日～2012年2月29日)の連結業績予想と期末配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

2012 年 2 月期 通期連結業績予想の修正 (2011 年 3 月 1 日～2012 年 2 月 29 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,100,000	175,000	183,000	50,000	65.35
今回修正予想(B)	5,170,000	195,000～205,000	200,000～210,000	63,000 ～68,000	82.34 ～88.87
増減額 (B-A)	70,000	20,000～30,000	17,000～27,000	13,000 ～18,000	-
増減率	1.4%	11.4%～17.1%	9.3%～14.8%	26.0% ～36.0%	-
前期実績(2011年2月期)	5,096,569	172,360	182,080	59,688	78.01

2. 連結業績予想修正の理由について

未曾有の災害となった東日本大震災は、当社および小売業はもとより、日本に大きな転換を迫るものであり、その転換に伴う変化への対応の成否が今後の成長を決定するものであると認識しております。また、世界経済の動向、直近では大きな為替変動への対応も重要であると認識しております。

この環境認識の下、当社は、震災による大きな被害を受けた地域におけるより早い復興を願い、経営資源を集中させるとともに、一方で、中長期的な成長ステージに向けたグループの事業構造改革をより一層推し進め、変化への対応に取り組んでおります。本日付発表の当第2四半期累計期間の業績(「2012年2月期 第2四半期決算短信」)は、営業利益、経常利益で2割を超えて前期実績を上回り、また、同じく本日付で発表した株式取得(「株式会社マルナカ及び株式会社山陽マルナカの株式取得(子会社化)及び株式会社マルナカホールディングスとの資本提携に関するお知らせ」)による業績への影響、および、期首からの施策の成果が今後より顕在化すること等を鑑み業績予想を修正するものです。

3. 配当予想修正について

上述のとおり 2012 年 2 月期連結業績は、東日本大震災後の大きな環境変化にもグループが持つインフラを最大限に活用することで対応するとともに、中期経営計画の初年度として、次の成長ステージに向けた事業構造、収益構造の改革が進み、計画を超えて推移しております。結果、当期は過去最高の営業利益、経常利益、当期純利益実績を更新する見込みです。

つきましては、当期末の普通配当の予想を本日修正させていただいた連結業績予想の達成を前提として、期末の1株あたりの普通配当予想を前回予想の21円に対して2円増額の23円に上方修正いたします。

今後とも、中長期的な成長による企業価値向上と利益還元のバランスの最適化を利益配分の重要施策として位置づけ、経営パートナーである株主の皆さまに、利益還元をさせていただきます。

4. 2012年2月期配当予想の修正内容

基 準 日	1株当たり配当金	
	期 末	年 間
前 回 予 想 (2011年7月6日発表)	普通配当21円00銭	普通配当21円00銭
今 回 予 想	普通配当23円00銭	普通配当23円00銭
(ご参考) 前期実績 (2011年2月期)	普通配当18円00銭 特別配当 3円00銭 (合計21円00銭)	普通配当18円00銭 特別配当 3円00銭 (合計21円00銭)

＊ 業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の実績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上